

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第5回協議会 報告

日時：平成24年11月28日（水）14：30～17：00

場所：安土防災コミュニティセンター 2階 会議室

1. 開 会

会長の津村近江八幡市副市長より、本年8月に発生した水害・土砂災害や「地先の安全度マップ」の公表および活用などについて、開会のあいさつをいただきました。



2. 議 事

(1)協議会規約の改正

約改正案について、県庁組織の改編に伴う修正を行うことで、承認されました。

(2)これまでの取り組みと今後の予定（案）

事務局説明

水害に備える意識の高揚、地域の危険状況に合わせた避難判断基準の設定、長期浸水への対応、地域の実情を踏まえた減災対策の検討・実施の各項目について、これまでの取り組みを報告し、今後の予定を提案しました。

・水害に備える意識の高揚

知恵・水害文化の発信の取り組みとして、24の集落で実施した聞き取り調査の結果や、これらの調査結果をとりまとめた水害情報マップやホームページの作成状況、出前講座の実施状況としては、出前講座マニュアルの作成と、10の集落で実施した結果を報告しました。今後の予定として、聞き取り調査の継続と市町担当者が主体となった出前講座の開催を提案しました。また、「地先の安全度マップ」の公表について報告し、避難判断資料の検討等に活用することを提案しました。

・地域別避難判断資料の検討

水位観測局と想定破堤地点（流下能力が低い箇所等）との水位を関連づけた水位関係表等を記載した周知用看板について、精度向上に関する修正や滋賀県水害情報サイトURLを追加したことを報告しました。また、避難すべき区域の検討や避難情報発令のための雨量基準による検証状況等を報告し、避難判断資料として更なる検討や、精度向上を図るための簡易水位計を設置し、地区別の避難判断基準の精度向上を図ることを提案しました。市町の地域防災計画等の見直しに関するアンケートの実施結果を報告し、見直しを行うにあたり、国や県から提供してほしい情報について意見を交換しました。

・水害時畜産業減災対策の検討（大中地区）

畜産業に関わる水害時の現状と水害時畜産業減災計画、及び畜産農家のヒアリング結果を報告し、畜産業の減災対策について関係機関で協議を継続していくことを提案しました。

・水害に強い地域づくりの検討

日野川中流左岸地区における「水害に強い地域づくり計画（案）」を諮るとともに、モデル集落として選定した葛巻町（東近江市）における浸水深を示す看板の設置等の地域防災力向上の取り組みや、同地区で実施した避難訓練について報告し、集落版の水害に強い地域づくり計画の検討を提案しました。

質疑応答・意見交換

これまでの取り組みと今後の予定について、各委員から様々な意見が出ました。以下に、主な意見を箇条書きで示します。



- ・ 検討を開始してから、5年が経過しようとしているので、各検討項目の達成度の把握と見直しを行う必要がある。
- ・ これまでの協議会で決定した事項に対して、市町が主体となって実施出来ていない状況があるので、その原因を議論することが必要である。
- ・ 通常の地域防災計画では、避難所は収容避難所であり、食料をもらえるような避難場所を記載しており、命を救うための安全な避難所が少なく、リストアップされてない。避難所の検討でやっておく必要がある。
- ・ 市町で、どういう情報があれば避難勧告が判断しやすい等の意見があると思うので、そこら辺についてもっと議論し、地域防災計画を作り込む必要がある。
- ・ 水害時畜産業減災対策の検討（大中地区）は、対策の議論はこれまでに十分に議論してきたと感じるので、一度検討結果を整理して、まとめる方向で検討を進める。
- ・ 東近江圏域日野川中流左岸地区における水害に強い地域づくり計画については、各地域で具体的な対策項目を追加するべきである。

結 果

事務局からこれまでの取り組みと今後の予定（案）を提案した結果、下記のとおり実施していくことになりました。

各検討項目を各市町で評価し、必要に応じて見直しを行う。

大中地区の検討は、これまでの検討結果を整理し、まとめる方向で検討を進める。

「東近江圏域日野川中流左岸地区 水害に強い地域づくり計画」の承認は見送りとし、位置づけについて再度議論する。